

# 未来へ翔け

## 次世代の『ものづくり』を担う若者たち



前田 涼惺さん

内定  
「略歴」まるた・りょうせい  
伊万里市立伊万里中学校  
身／ボランティア部に所属  
情報処理技能検定(表  
算)準2級、測量士補、伐  
等從事者 安全衛生教育修業  
佐賀県厅(土木技術職)

①伊実祭(体育祭、文化祭)が一番の思い出です。文化祭では、模擬店を出したり、ステージ上でパフォーマンスをしました。体育祭では、クラス全員が団結して競技に取り組み、全力で楽しむことができました。クラス全員でつくりあげたこの2つが一番の思い出です。

②高校での学びを通して土木に興味をもち、授業で得た知識で人々の生活を支えられるような仕事に就きたいと考えたのがきっかけです。県民の方々からの意見を取り入れていき、建設業の方々ともいろいろな所で協力して、県内の整備に取り組みたいと思います。

③積極的に行動できる社会人になりたいです。最初は分からぬことばかりだと思いつますが、自分で次に何をしなければならないかを考え、行動できるように意識していきます。積極的な行動と、最後まで責任を持ってやり遂げる姿勢を通して、信頼される社会人になりたいです。



峰松 彪雅さん

①高校時代の思い出は、学校農業クラブの平板測量競技の選手として出場したことです。平板測量は、少しのミスが大きく影響します。そのため、朝早くや放課後、休日に何度も練習を重ね、仲間と声を掛け合いながら精度を高めました。大会当日はとても緊張しましたが、これまでの練習を信じて挑み、2年次では優秀賞を取ることができました。チームの仲間や忙しい中指導していただいた先生方にとっても感謝しています。

②幼い頃からものづくりが好きで、小学生の時に近所で橋の工事を間近で見たことで、興味を持ちました。また、高校の授業での測量、土木施工や設計の学習を通して、建設業への就職を考えました。たくさん的人が利用する、未来に残る道路をつくりたいと思いました。

③みんなから信頼される社会人になりたいです。そのために、現場の方々と積極的にコミュニケーションをとり、信頼し合える関係を築きたいと思います。そして将来は、現場監督として地元の快適な街づくりに貢献する人材になれるよう頑張りたいと思います。

# 県立伊万里実業高等学校

～Imari Vocational high school～

## ■質問內容

- ①高校時代の思い出 ②建設業に就職しようと思ったきっかけは  
③どんな社会人になりたいか



岩野 英仁さん

【略歴】いわの・ひでひと  
万里市立国見中学校出身  
日本語で所属する  
プロ検定3級、情報報道  
検定(表計算)3級、小型車  
系建設機械、小型フォーク  
リフト運転特別教育修了、伐  
木等従事者安全衛生教育修了  
黒木建設㈱に内定

①高校時代の一番の思い出は、2年生の時に行った修学旅行です。普段行くことのできない大阪や京都を訪れ、知らない土地の風景や文化に緊張しました。金閣寺や嵐山、防災センターを見学し、阪神淡路大震災の恐ろしさなどを学び、いい勉強になりました。友達と一緒に思い出ができたことが最高の宝物です。

②建設業に就職しようと思ったきっかけは、「形に残る仕事ができる」ことに魅力を感じたからです。最初は何もないところからたくさんの人と協力して、ひとつのものを完成させるという達成感を味わいたいと思っています。自分が建設に携わったものが、社会の役に立つていいけるよう、頑張りたいと思っています。

③社会人として誰からも信頼される人になりたいです。そのためには、時間を作る、期限を守る、わからないことは相談するなど、「ほう・れん・そう」をしっかりとやっていきたいと思っています。また、多くの方と接するので挨拶や礼儀に気を付けて、頑張っていきます。